

川上ダム堤体コンクリート40万^{だせつ}m³打設達成！

川上ダムでは、堤体コンクリートの総打設量が40万m³（全体の約88%）を達成しますのでお知らせ致します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、イベント等はいませんが、必要な方には施工状況写真（写真1～4）を提供させていただきますので下記お問い合わせ先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 40万m³達成日 令和2年12月10日（木）

※悪天候等により達成日が順延される場合があります。

2. 場 所 伊賀市川上地内 川上ダム ダムサイト

施工状況は、川上ダムホームページの「川上ダムLIVEカメラ」からご覧頂くことができます。

川上ダムホームページ：<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami/>



令和 2年12月 7日

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ

第二県政記者クラブ

伊賀記者会

名張市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所 総務課長 ほりぐち堀口

住 所：〒518-0294 三重県伊賀市阿保^{あお}251番地

電 話：0595（52）1661

川上ダム建設事業

事業の目的

洪水調節

川上ダム地点における計画最大流量 $850\text{m}^3/\text{s}$ のうち $780\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い下流の洪水流量を低減します。

新規利水

伊賀市の水道用水として最大 $0.358\text{m}^3/\text{s}$ ($30,919\text{m}^3/\text{日}$)の取水を可能とします。

流水の正常な機能の維持

前深瀬川及び木津川の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。また、既設ダムの堆砂除去時の代替補給を行います。

事業の概要

事業工期: 昭和56年度～令和4年度(2022年度) 予定

ダムサイト位置

左岸 三重県伊賀市青山羽根

右岸 三重県伊賀市阿保

形式 重力式コンクリートダム

堤高 84m(堤頂 EL. 282.0m)

堤体積 約 $45\text{万}\text{m}^3$

集水面積 約 54.7km^2

湛水面積 約 1.04km^2

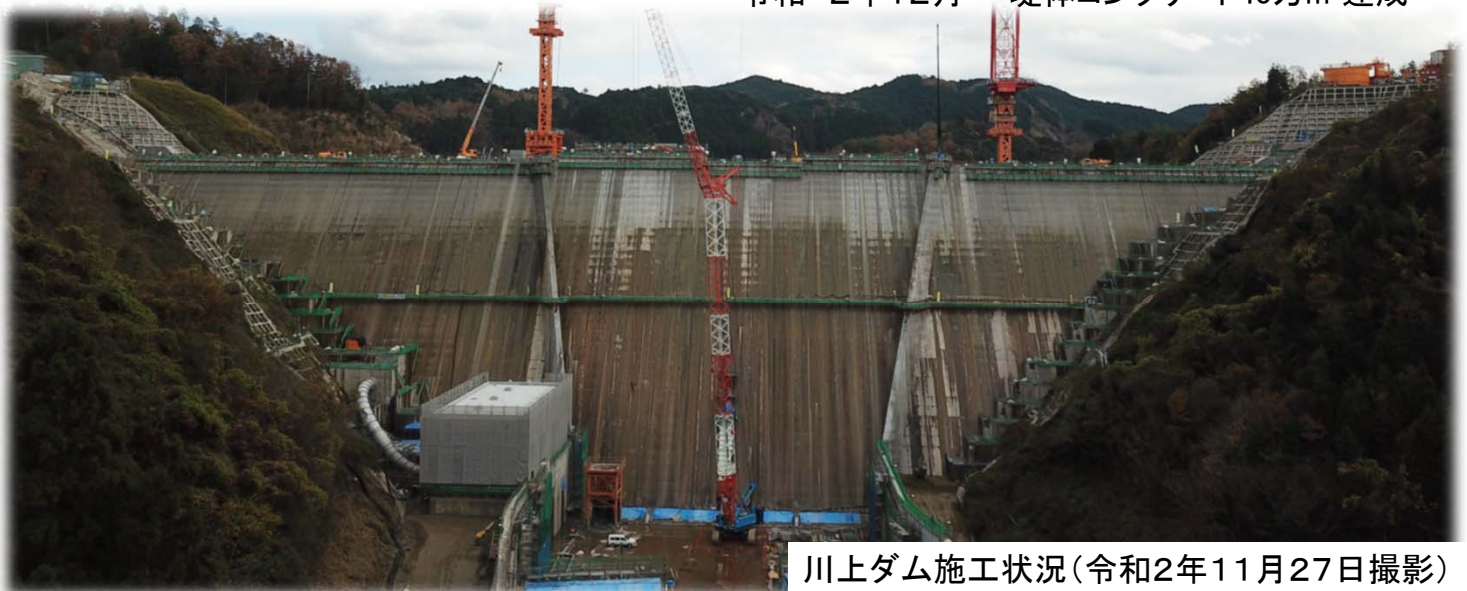
総貯水容量 約 $31,000,000\text{m}^3$

有効貯水容量 約 $29,200,000\text{m}^3$



事業の経過(進捗状況)

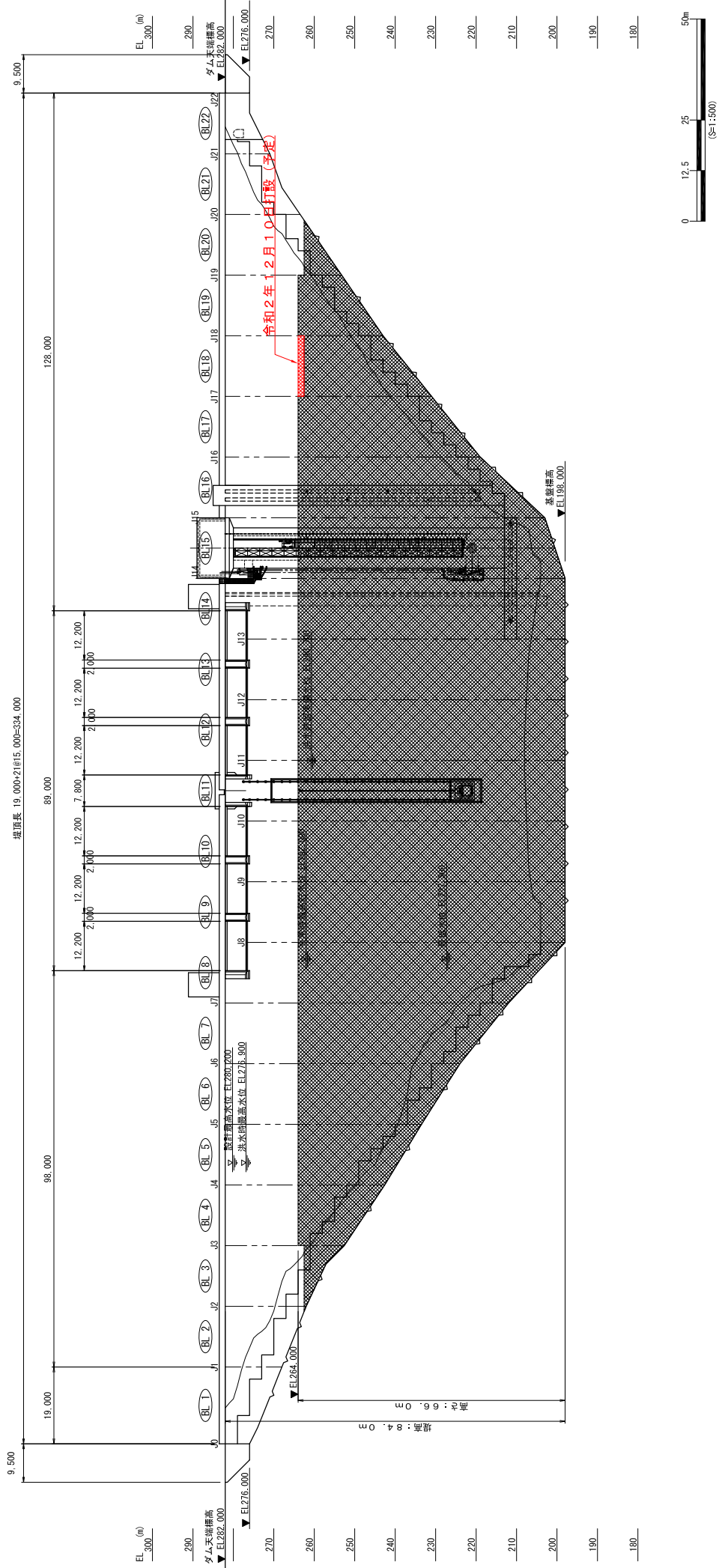
昭和42年	予備調査に着手(建設省)	平成29年11月	付替県道青山美杉線全線供用開始
昭和56年	実施計画調査開始(建設省)	平成30年 4月	仮排水路トンネル転流開始
昭和57年 8月	水資源開発公団が事業を継承	平成30年 9月	本体建設工事 起工式
平成 8年12月	一般補償基準の妥結	平成30年 9月	本体基礎掘削に着手
	(ダムサイト上流)	平成31年 3月	本体基礎掘削を完了
平成 9年12月	一般補償基準の妥結	令和 元年 7月	減勢工コンクリート打設開始
	(ダムサイト下流)	令和 元年 9月	堤体コンクリート打設開始
平成16年 3月	川上ダム建設事業に伴う離村式	令和 2年 2月	堤体コンクリート $10\text{万}\text{m}^3$ 達成
平成20年11月	付替県道松阪青山線全線供用開始	令和 2年 5月	堤体コンクリート $20\text{万}\text{m}^3$ 達成
平成29年 9月	本体建設工事を契約	令和 2年 9月	堤体コンクリート $30\text{万}\text{m}^3$ 達成
		令和 2年12月	堤体コンクリート $40\text{万}\text{m}^3$ 達成



川上ダム施工状況(令和2年11月27日撮影)

堤体打設実績

S=1:500



工事名	川上ダム本体建設工事
名称	堤体上流面図
図号	S-1:500
図番	
整理番号	
設計者	独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所

川上ダム施工状況



写真-1 川上ダムダムサイト（下流から上流を望む）



写真-2 川上ダムダムサイト（下流から上流を望む）

川上ダム施工状況



写真-3 川上ダムダムサイト (上流から下流を望む)



写真-4 川上ダムダムサイト (真上から)